

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	原 京二	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「卒業論文研究」では、4年間の学習の集大成として「卒業論文研究」に取り組む。社会や経営学分野における諸問題から自らテーマを設定し、指導教員の指導を受けながら、そのテーマについての卒業論文を執筆する。前期は、自らの課題意識や関心に即したテーマについての情報を収集し、文献等を参考にして、自ら卒業論文で扱う具体的な課題を決定する。そして、その課題について、自分なりの解決や提案を試みる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式（自ら設定したテーマ等についてゼミのメンバーと共有して内容についてのフィードバックを受ける。また各自で論文の執筆状況等を個別に指導教員に報告し、修正追加等についての指導を受ける）

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	卒業研究論文の完成に向けたスケジュール等の確認	<input type="checkbox"/>
第2回	卒業研究の経過報告	夏季休暇中の進捗状況の発表と今後の進め方の確認	<input type="checkbox"/>
第3回	卒業研究の経過報告	夏季休暇中の進捗状況の発表と今後の進め方の確認	<input type="checkbox"/>
第4回	卒業研究の経過報告	夏季休暇中の進捗状況の発表と今後の進め方の確認	<input type="checkbox"/>
第5回	卒業研究の中間プレゼンテーションⅠ	70%の完成度を目指して発表しゼミ内で進捗を共有する	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業研究の中間プレゼンテーションⅡ	70%の完成度を目指して発表しゼミ内で進捗を共有する	<input type="checkbox"/>
第7回	卒業研究の中間プレゼンテーションⅢ	70%の完成度を目指して発表しゼミ内で進捗を共有する	<input type="checkbox"/>
第8回	卒業研究の推敲	卒業研究論文の内容を繰り返し練り修正と追加を行う	<input type="checkbox"/>
第9回	卒業研究の推敲	卒業研究論文の内容を繰り返し練り修正と追加を行う	<input type="checkbox"/>
第10回	卒業研究の推敲	卒業研究論文の内容を繰り返し練り修正と追加を行う	<input type="checkbox"/>
第11回	個人研究の最終プレゼンテーションⅣ	卒業研究論文の最終案を発表する	<input type="checkbox"/>
第12回	個人研究の最終プレゼンテーションⅤ	卒業研究論文の最終案を発表する	<input type="checkbox"/>
第13回	個人研究の最終プレゼンテーションⅥ	卒業研究論文の最終案を発表する	<input type="checkbox"/>
第14回	卒業論文の提出	卒業研究論文の提出	<input type="checkbox"/>
第15回	ゼミの総括	2年間のゼミ活動を総括する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にはゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなどの情報を主体的に収集すること（2時間程度）また授業後にはゼミ課題に積極的に取り組むこと（2時間程度）。日ごろから主体的に卒業研究に関連する情報を収集するように努めること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問等があればteamsでのフィードバックのほか、授業時間内での質問、事前にアポイントをとり、オフィスアワー時に研究室での面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	卒業研究のテーマが社会全体の中でどのように関わっているのかを明確にする。論文においては客観的な資料や文献等を参考にして自分の言葉で理論的にまとめるものとする。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	大学4年間のまとめとして「卒業研究論文」を書き上げる。論文の作成にあたっては、その書き方を理解し、適切な問いを立て、幅広いリサーチを基礎として完成度の高いものとする。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 演習への参加態度、主体性、卒業研究論文の完成度で総合的に判断する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で紹介します	
2		
3		
4		
5		